

「ペトロ、コルネリウスからの使者を受け入れる」 2016年05月12日

使徒言行録 10 章 17 節～23 節 a。ペトロが、今見た幻はいったい何だろうかと、ひとりで思案に暮れていると、コルネリウスから差し向けられた人々が、シモンの家を探し当てて門口に立ち、声をかけて、「ペトロと呼ばれるシモンという方が、ここに泊まっておられますか」と尋ねた。ペトロがなおも幻について考え込んでいると、“霊”がこう言った。「三人の者があなたを探しに来ている。立って下に行き、ためらわないで一緒に出発しなさい。わたしがあの者たちをよこしたのだ。」ペトロは、その人々のところへ降りて行って、「あなたがたが探しているのは、このわたしです。どうして、ここへ来られたのですか」と言った。すると、彼らは言った。「百人隊長のコルネリウスは、正しい人で神を畏れ、すべてのユダヤ人に評判の良い人ですが、あなたを家に招いて話を聞くようにと、聖なる天使からお告げを受けたのです。」それで、ペトロはその人たちを迎え入れ、泊まらせた。

ペトロは、天が開け、大きな入れ物にあらゆる獣、地を這うもの、空の鳥が入った物が地上に降りてくる幻を見た。そして「ペトロよ、身を起こし、屠って食べなさい」という声を聞いた。彼は「主よ、とんでもないことです。清くない物、汚れた物は何一つ食べたことはありません」と拒絶した。清浄規定を破ることはできませんとイスラエル人として当然の応答をした。すると「神が清めた物を、清くないなどと、あなたは言うてはならない」という声がした。神は浄、不浄の垣根を取り壊したと言われたのである。こういうことが三度もあり、入れ物は天に引き上げられた。ペトロはこの幻は何のことであろうかと思案に暮れていた。そこへ、コルネリウスからの使者がペトロのいる家を探し当て、門口に立って「ペトロと呼ばれるシモンという方が、ここに泊まっておられますか」と尋ねた。

ペトロはなおも幻について考え込んでいると、「霊」が「三人の者があなたを探しに来ている。立って下に行き、ためらわないで一緒に出発しなさい。わたしがあの者たちをよこしたのだ」と言い、三人の来訪は神の導きであり、彼らの申し出に従い、一緒に行きなさいと命じた。ペトロは、その人々のところへ降りて行って「あなたがたが探しているのは、このわたしです。どうして、ここへ来られたのですか」と尋ねた。すると、彼らは「百人隊長のコルネリウスは、正しい人で神を畏れ、すべてのユダヤ人に評判の良い人ですが、あなたを家に招いて話を聞くようにと、聖なる天使からお告げを受けたのです」と答えた。ペトロはその人たちを迎え入れ、一晚泊まらせた。

コルネリウスが遣わした三人の内、二人の召使はユダヤ人であろう。もう一人は側近のローマ人の兵士で、ユダヤ教に改宗した信仰の篤い人であろう。イスラエル人は自分たちは神に選ばれた清い民であると誇り、異教徒は神を知らぬ汚れた民であると軽蔑していた。異教徒とは口を利かない、まして家に招き、共に食事をする事など、あり得ないことであった。主イエスをローマの総督ピラトに訴えた時、訴えた神殿当局者たちはピラトの官邸に入らなかったとヨハネ福音書 18 章 23 節に書かれている。ところがペトロは、ローマ兵を含む三人を家に迎え入れ、泊まらせている。天使の「神が清めた物を、清くないなどと、あなたは言うてはならない」という言葉が、ペトロに浄、不浄の垣根を乗り越えさせたのである。民族差別はいつの世でも見られるが、主イエスの福音は、人は皆神の愛の中にあると、民族差別を無効にしている。